



ぞくたり

2024(令和6)年 9月議会
12月1日発行

No.102

故郷の思ひとこ

引き継がれる地域との絆



沖縄 少林流志道館 宮聖空手道場 65周年記念式典

CONTENTS

一般質問	P2～P10
令和5年度決算審査結果	P11
臨時会・定例会議案議決等結果	P12
賛否の分かれた議案等	P13
陳情・議会活動	P14
特集記事	P15
議会活動・つぶやき	P16

今回の表紙題字 西原小学校3年生 佐久川 寛海さん
12月定例議会 12月6日(金) 開会予定

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



い じゅ さとる
伊集 悟 議員



問

健診は大切だがこどもの気持ちや人権を後回しにしてはいけない。1月の文科省通知で「事前に丁寧な説明を行う」とある。適切にやってほしい。

教育総務課主幹 各学校と養護教諭、管理職含めて、同通知を心得て、健康診断を行いたい。

問

体育の着替えて男子と一緒に着替えるのを嫌がる子もいる。就学前、低学年でも水着で隠れる所は人に見せない触らせないと教えていて、繊細な子は気にする。大人目線で低学年だから大丈夫だろう、ではいけない。

教育総務課主幹 3年生以上は男女別で対応。1、2年生は把握していないが、必要なことだと思うので、学校と相談して、配慮を進めたい。

問

西原中、西原東中也制服を見直す方針だが、特徴や価格はどうか。

教育総務課主幹 特徴はノーアイロンや吸汗速乾、透け防止、ブレザー

問

この前向きな回答をこども達への返事としたいが

教育長 学校運営協議会で熟議してもらい、教育委員会も一緒に議論したい。



体育座りの見直しで提案があった楽立膝（らくたてひざ）

問

■お金のからない提案。こどもの意見も積極的に採用すべきでは！

7月の青少協の意見発表で6年生から体育座りの見直しの提案があり体によくないと専門家も指摘。とてもいい提案だが、教育長の感想は。

教育長

学校生活の中の当たり前前に疑問を持ち、主体的に調べ、根拠を持って自分の意見を表現していて感動した。

問

上原公民館用地の借地料は免除すべきと考えるが見解を聞く。

総務課長

総務部長の答弁のとおりに協力的に取組んでおり、今後そのような契約で進めていきたいと考えている。

問

学校運営協議会において給食費の無償化を含めた議論がなされたか聞く。

■施政方針について聞く

問

平園ハイツ内にある公民館建設予定地の平園自治会への返還について見解を聞く。

町長

当該地区における集会建設用地の引き渡しについては、これまでの経緯や移行に向けた確認作業や手続等が必要であることから、引き続き平園自治会と調整を図っていく。



あら た そう しん
新田 宗信 議員



後間毛都都市緑地公園の課題は？

その他の質問

- こどもの登下校時の安全確保について
- 全国学力テストで見た本町のこどもたちの学力について
- 自主財源確保の大きな一手。ふるさと納税の本町の戦略について

問

掛保久後間毛都市緑地の現状と課題について聞く。

建設部長

土地使用賃貸契約書を昭和63年4月1日に締結し、同年12月7日付で都市計画決定され都市公園となっている。現状は、当該後間毛愛護会及び町都市計画課公園係で連携し管理をしている。

問

用地の買い取り又は、借地料の支払いについて聞く。

都市整備課長

10年ごとに契約の延長ができる事を踏まえても他の公園の整備状況を見ても借地料を支払うことは考えていない。

問

上原公民館用地の現状と課題について聞く。

総務部長

上原自治会と協議を行いつながりながら協力的に取組んでいる。

教育部長

各小中学校の学校運営協議会において給食費の無償化についての議論はされていない。

その他の質問

- 町職員の自治会加入率について。
- 水道料金の見直しについて。
- 農福連携と学校給食の食材の確保について。
- 農業振興について。
- 区画整理事業について。
- 消防、防災体制等の確立について。
- モノレール延伸及び駅等の再開発について。
- 里道、道路網及び排水施設の整備について。
- 農業委員会会長及び監査委員の議会への出席等について。



上原公民館用地について



やましろ かつ たか
山城 勝貴 議員

問

徳佐田地区の区画整理を行う範囲は。

都市整備課主幹

範囲は、区域区分の特定保留地で大きく取っている。今後発起人会で決めていく。

問

地域関係者、地権者へ説明会の予定はあるか。

都市整備課主幹

説明会開催は発起人会と連携しながら行っていきたい。

土地区画整理事業について

問

徳佐田地区の土地区画整理事業について発起人会の活動内容を問う。

都市整備課主幹

発起人会の1回目は役員選出、規約の決定。2回目は宛所不在、隣近所の確認。3回目は、宛先不明者報告と業務代行方式の概要

いいあんべー家やセルフメンテナンスについて

問

いいあんべー家指定管理者選定までのスケジュールは。

福祉課長

9月20日から10月25日までの間、提出書類の受付、第1次審査の結果通知を10月30日。そして11月8日に第2次審査を予定している。ま

問

通所C※を終えた通所者へのセルフメンテナンス向上の取組み、アフターフォローは。

※通所Cとは？

自立した日常生活が送れるように生活機能の改善・維持を目的とした短期集中介護予防サービス

福祉課長

いいあんべー家ないし共生事業、また体操サークルという形で、いろんな方向性を持って、その人に場所の提供をしていきたい。

学校の働き方改革として

問

スクールサポートスタッフに登校支援が必要な児童生徒の対応

や休み時間の見守りを任せることも教職員の負担軽減につながるのではないかと、見解を問う。

教育総務課主幹

県から休み時間や放課後、授業時間以外の見守りは可能ではないかと示されているので検討したい。

問

日本語教室の必要性について見解を問う。

教育長

文科省から日本語指導を必要とするものについての対応が求められている。本町においても坂田小学校の例を見据えながら、日本語学習の為にタブレットドリルも含めて対応したい。

その他の質問

○公園、スポーツ施設、学校施設における安全対策について。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



まえ さと こう しん
前里 光信 議員



町長の2期目の選挙公約の件

問

町長選の時のチラシに町長が示した事項が公約と言う形で私は捉えている。そのチラシに「オール西原」とあるが、その意味する内容は何か。

町長

私は1期目より、常々、西原町のまちづくりは町民とともに

琉大医学部移転について

問

本町としての、跡地利用計画構想を聞く。

町長

琉球大学を中心に文教のまちとしてふさわしい、地元住民と調和、共存する施設、文教エリアとして、人材育成の施設を跡地利用促進協議会で意見している。



おお しろ よし ひろ
大城 好弘 議員



「オール西原」でと訴えてきた。西原町をよくしたい、元気にしたいと言う気持ちは町民をはじめ、議員も共通の思いである。誰でも誇れる西原町のまちづくりを進める上で、とりわけ昨今の厳しい財源状況においては、保守、革新だと言っている場合ではなく、イデオロギーを超えてひとつにまとまっていく必要があると考えている。まちづくりの主体は町民であり、そこにかかわる人であることから、町民や議員と共によりよい協働のまちづくりを進めたい。「オール西原」はそう言う意味を込めている。

問

9月10日から16日は1週間、自殺予防週間となっているが、西原町において自死つまり自殺した町民はいたか、過去5年間の状況を聞く。また、男女それぞれ何名か、その原因をどう分析しているか、町がやってき

た対策、今後の取組みを聞く。

福祉部長

本町の自殺者は令和4年6名、令和3年7名、令和2年3名、平成30年3名で、過去5年では総計22名。そのうち男性14名、女性8名である。原因は健康問題32・4%、経済生活問題10・9%。健康問題の内訳では、うつ病、統合失調症等がある。また、西原町自殺対策計画を令和2年度から10年計画として策定、地域見守り等対策をとっている。

■教育行政について

問

沖縄科学技術大学院大学（OIST）と西原町の連携について。

教育部長

西原小において、オンライン講話を実施している。中学校は県とOISTが連携している事業に個別に参加。

教育部長

小学校改築基本計画策定検討委員会設置要綱において、15名以内で組織。教育部長、校長、保護者及び地域住民の代表的な立場にある者等を予定している。

問

コンクリート落下防止工事について聞く。

教育部長

剥離落下防止工事ネットの取付け工事は8月に工事発



沖縄科学技術大学院大学（OIST）と連携を！

その他の質問

- 焼却炉（ごみ処理施設）
- 子どもの居場所作りについて
- マイナンバーカードの件
- 西原西地区土地区画整理事業推進について
- いいあんべー共生事業について

問

坂田小学校区は新設学校1校を増し、西地区は2校で小中一貫校9年生移行導入は。

教育部長

人口ビジョンで示された将来人口など勘案し、学校を新設するのではなく、学校区の再編をすることに対応する。

問

利活用については、産官学合同の施設を配置し、都市機能も併合し、沖縄観光の中心核と位置づけ、国・県、西原町含めて、最上階100階建高層ホテルを提案したいが。

町長

当該地区の都市計画用途との関連や、跡地利用推進計画の基本方針、サウディング市場調査など勘案すると、実現の可能性は厳しいと考えている。

東小学校建て替えは!!

問

西原東小学校建設検討委員会の立ち上げの時期は。

教育部長

委託発注している基本計画策定業務において計画のたたき台の案ができた段階で立ち上げを予定している。

問

委員会のメンバーについて。

注、10月の秋休み期間中に工事完了。

問

小中一貫校の導入検討は。

教育部長

西原町教育ゆいプラン全体構想、小中連携教育を位置づけ、中一ギャップ解消や系統的な学習の取組み、小学校から中学校へスムーズに適用できるよう取組み、現時点では検討していない。



坂田小学校区に新設校を!



なか まつ 勤 議員



知事の公約!小中学生の給食費の無償化は?

問

中学校のみ給食費半額補助において町では残り半額を補助し全額無償化とする思はあるか。

町長

新年度の予算で判断。県から小学校・中学校の全額給食費無償化の提案はあったか。

玉城知事の公約最後の年だが。

町長

県は令和7年度における給食費の半額を中学生のみ、小学生は国の動向を踏まえ今後検討するとされ、県の動向を注視する

教育部長

県から令和8年度の小学校・中学校に係る給食費の無償化の連絡や通知はない。

子ども医療費18歳までの年齢拡大を!!

問

町において子ども支援対策として18歳までの医療費無料化を

町長

中学校までやっている。高校までとなると独自で支援、また継続性も鑑みて検討する必要がある。

町内企業優先発注・町産品優先使いで町の活性化を!!

問

町内企業優先発注・町産品優先使用についての現状と推進に向けた取組みについて問う。下地商工会長ら関係者からの陳情も毎年行われており、公共工事など優先的に発注がされたのか議会でも疑問視された現状もある。

建設部長

町内企業向けに商工会と連携し町公共事業等説明会を開催し公共工事の参入を促進している。町産品の使用について、工事の特記仕様書へ明記し優先使用を推進している。

マイスの入札が不成立!!

問

マイス整備を前提とした町都市基本計画の策定の状況は。

町長

令和6年6月にマイスの入札等に関する説明会、現地見学会、入札参加の公募を行ったが希望する事業

その他の質問

- 安心できる行政運営について
- 普天間飛行場の現状と課題
- 教育委員の選任について

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



ま え し ろ て つ
真栄城 哲 議員



■これ「官製談合」じゃないの？

問 「文教のまち」元気プロジェクト事業について、6月議会外部調査を求めた。理由として昨年12月に事業内容漏洩の情報。今年1月末入札参加予定者から当時会計任用職員へ給与を優遇するので更新しないよう働きか

■町長二期目に向けての施策等

問 崎原町長は、無投票で二期目の当選をされた。感想と、どのような公約を掲げ、又、新体制についての考えは。

町長 無投票の結果はひとまず安堵と、二期目に当たり大変身の引き締まる思い。子育て、教育支援の充実、区画整理事業や工業移設用地確保の推進、企



き な ま さ も り
喜納 昌盛 議員



けた情報入手。何故調査しないのか。

教育部長 12月の件について調査はしていない。本人は、働き掛けについて、承知していない。

問 2月の後半にその話をしたのには、2月初旬で更新の手続きが終了する。結果、当該者は更新していないが。

教育部長 確認したところ働きかけはしていない。厳重注意処分した。

問 これが事実であれば官製談合。重要性を分かったの答弁か。

教育部長 流れた情報を持っていた。談合の認識はなかった。

■国庫補助金が・・・大丈

夫？西原町

問 デジタルリテラシー事業も町長決裁を受けずに行ったのか。

教育部長 事後決裁という形で、決裁は受けている。

問 金の支払いが上司決裁を受けず、簡単に西原町はできるのか。

教育部長 本来できない。指摘は監査委員の指摘の通りである。

問 国庫補助金がこのような処理で進められた実態だが。

副町長 あつてはならない事で遺憾である。上司に報告がなく把握できなかった事が原因である。

問 他自治体は委託契約で行っている。なぜ本町はしなかったのか。

教育部長 監査委員指摘の通り、そうすべきだった。謝礼金にしたのは認識の甘さである。

■水害対策を万全に!!

問 町立図書館は、今年、開館20周年を迎えた。現状と課題、今後の利活用のあり方、又周辺の整備についての施策は。

教育部長 来訪者数は令和6年8月末現在、約272万人超え、蔵書数11万1千点。課題として築20年経過による老朽化。都市マスタープランにおいて、シンボルロード沿岸の公共施設ゾーンとして拠点性や利便性を高め、近隣公

問 今後考えられる即効性のある対策は。

土木課長 現在小那覇でやっている、ポンプでの強制排水と考える。

提案 小那覇工業専用地域内の冠水については、12月定例会において意見書として提出できればと考える。



水害対策について

その他の質問
○今回行われた人事について

町長 重要と考えるので、予算を勘案し検討する。



老朽化した西原中央公民館の再編整備は？

業誘致等に力を入れる。現体制でトップセールスにより、住んでよかったまち西原町の実現に取り組む。

■公共施設や周辺の整備について

問 西原町中央公民館の再編整備についての今後の進め方は。又、

他の公共施設の老朽化、建て替えの問題や財政の見通しについての考えは。

教育部長 現段階では、施設の長寿命化を意識し、必要に応じて修繕等で運用。

総務部長 公共施設等総合管理計画では、建築物28施設の内、老朽化率80%が二割。建て替えるか、統合や廃止、又は長寿命化等の対策を行なうか、施設ごとに検討の必要あり。更新に係る投資額は、今後50年間で159億円、年平均3億2千万円必要との試算。

園を整備し、小波津川河畔まちづくりと整合性を図り、魅力的な環境、空間をつくる。

■戦後80年事業について

問 来年の2025年は、第二次世界大戦の日本敗戦から80年。沖縄戦を風化させない為何らかの事業は考えられないか。

来年の2025年は、第二次世界大戦の日本敗戦から80年。沖縄戦を風化させない為何らかの事業は考えられないか。



西原町立図書館は今年創立 20 年！

■道路行政を聞く

問 国道329号とマックスバリュ前の国道と県道の接続について

質す。

土木課長 国道329号海側の交差点を令和7年度、国道から小学校向けを令和8年度の工事を予定している。

問 兼久ドラッグストアー歩道整備を聞く。

建設部長 歩道については、現在地権者と協議していて乗り入れ箇所の変更工事を予定し、その際に舗装工事

も行う。

問 我謝白川道路の浸水を聞く。

建設部長 本路線は、道路排水計

画指針に基づき排水断面を決定し、平成25年度から27年度まで石油貯蔵施設立地対策交付金事業を活用し整備したが、近年の気候変動による集中豪雨が想定を上回りそのことが要因であると考えている。

問 国道我謝交差点から東崎に向かう歩道整備を聞く。

建設部長 警察と調整し、グリーンベルトとポストコーンの設置はどうかと意見があった。

土木課長 グリーンベルトが安全対策上有効だろうと考えているので12月補正予算にあげて早いうちに対応したいと考えている。

■空き地店舗開発を質す

問 美咲地域の国道沿いの空き地の面積を聞く。

総務部長 現在コンビニを含めて1,700坪。

問 コンビニと寿司店が来ることに

よる経済効果を聞く。

■ごみ処理施設を質す

問 7月の住民説明会の内容を聞く。

総務部長 地権者からは、予定地の旧伊保の浜集落で元住民が多く住んでいる平園区や美咲区への説明会の要望があった。



やびくみつる 屋比久 満 議員

■町長2期目当選を聞く

問 2期目の重点公約は何か。

町長 1期目同様、①子供たちの未来のために②明るいまちづくりのために③平和実現のために④確かな行財政運営のために新たな取組みは、国、県への積極的な働きかけによる財源確

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



議員 儀間 駿太郎



■小中学校のプール授業の民間委託について

問 西原中学校において民間のスイミングスクールを活用した授業が行われたが、その取り組みにおける反応は。

教育部長 水泳学習終了後、西原中学校1、2年生及び教職員にアンケートを行った結果9割以上の生徒

■12月2日以降健康保険証はどうなる!?

問 政府は昨年度補正予算でマイナ保険証の普及に向けて887億円を計上。申請不要で、支援要件は、一定の利用人数増、窓口での厚労省指定ポスター掲示、厚労省作成「台本」に沿った「声かけ」と指定チラシの徹底配布。しかし8月厚労省公表のパブコメ結



議員 伊計 裕子



から良い回答を得た。また、8割以上の生徒から次年度以降もスイミングスクールで学習したいとの意見があった。教職員からは、肯定的な意見もあるが、時間割編成等が厳しいなどの意見もあった。

問 時間割編成等への負担増における改善策はあるのか。

教育総務課主幹 ICT支援員を活用し、時間割担当と協力して作成していきたい。

問 今後プール授業の民間委託は次年度以降計画があるのか。

教育総務課長 次年度から西原小学校・西原東小学校も予定している。今後も老朽化度合いを見ながら進めていきたい。

■デジタル端末を活用したペーパーレス化

問 議会及び職員へデジタル端末を活用したペーパーレス化を推進すべきではないか。

総務部長 現在、職員はデスクトップ型であるので今後、ノート型へ切り替えを検討している。議会は運営に関することなので議会で議論してほしい。

問 まずは、執行部から導入できないか。

企画財政課長 ノート型へ切り替えれるよう今年度中には整備していきたい。

■東崎・兼久線開通はいつか！

問 国道329号線からビーチ側の当初完成予定はいつごろだったか。

土木課長 令和7年度完成予定であったが、令和8年度へ延長した。

周知している。

問 10月末からはマイナ保険証の登録解除の申請も各保険者が受け付けるといっても周知されているか。

健康保険課長 町では、11月1日から申請の受付開始を予定している。

問 12月2日以降に引越や転職・退職等で保険証が変わった場合は、使えなくなることも丁寧な周知はされているのか。

問 現状、どのような協議を進めているか。

土木課長 国道交差点は最終段階。年内協議完了予定。

問 町長はこの事業をしっかりとすすめて欲しいがどうか。

町長 通学路についてごもたちの安全、それはしっかり確認しながら令和8年度完成できるようにしていきたい。

その他の質問

- 小中学校の通信環境について
- 社会教育について
- 不登校件数と生徒・家庭との連携について
- 公式ラインについて
- 故障したサーバーについて
- スターリンクの活用
- 町民体育館内トレーニング室の器具の整備
- 自主財源確保と今後の財政健全化において

その他の質問

- 介護報酬改定について
- 教員の長時間労働について
- 女性差別撤廃条約選択議定書について

果は、ほとんどの意見が保険証廃止反対。マイナンバーカードを作るかどうか、保険証として登録するかどうか、保険証として使うかどうかも任意だ。町長の認識を聞く。

町長 マイナ保険証は、少子高齢化が進む中、医療の効率化等を指す医療DXの基盤になる。しかし、個人情報流出への不安、カードの利用・管理等に対する不安を持っている町民もいる。

そのような町民は現行保険証と変わらない資格確認書を利用してもらえればよく、町としては、不安を払拭できるような、制度の周知に努めたい。

問 現在の国民健康保険証は来年の7月まで使えるということの周知はされているのか。

健康保険課長 資格に異動のない場合は、令和7年7月31日までは現在の保険証が使えることをホームページ等で

健康保険課長 ホームページで新たに周知する予定であり、窓口では12月2日からはマイナ保険証が資格確認書を利用するように周知している。

問 担当課で資格確認書を送る人と資格情報のお知らせを送る人は、把握できているのか。

健康保険課長 把握できるよう、今システム改修を行っている。

建設部長 一般社団法人日本公園施設業協会に加盟している企業に対し、年に一回の遊具点検を依頼、イルカ公園も他の児童公園と同様年一回の遊具点検を依頼し利用者から施設の異常についての連絡があれば、随時現場確認を行い、速やかに対応している。

グシエルターとして指定することについて、調査検討している。



なが はま
長浜 ひろみ 議員



児童手当について

問 児童手当が令和6年10月から所得制限を撤廃し大幅に拡充される、中学3年までが、高校卒業年代まで拡充されることにより、必要な手続きは。また申請が必要な場合と必要でない場合の説明を。

町長 令和6年10月分から児童手

問 第3子以降一人につき3万円が支給されるが第3子の定義は。

町長 第3子の考え方は、養育しているこどものうち22歳以下のこどもから数えて3番目以降のこどもになる。

公園遊具の安全点検について

問 イルカ公園の滑り台のローラーが滑りにくくなり、壊れている部品がある、イルカ公園の遊具の点検は行っているか。

熱中症対策について

問 今年の夏も猛暑が続き、光熱費を節約したため高齢者に限らず熱中症で亡くなるという痛ましい事故も報道された。公共施設を熱中症対策施設として指定できないか。

福祉部長 令和6年4月から熱中症特別警戒アラートが発令された場合、市町村はクーリングシエルの設置など熱中症対策を取ることが求められており、現在公共施設をクーリン



イルカ公園内の遊具のメンテナンスは？

その他の質問

- 女性の健康支援とがん教育について
- 教育行政について



全日本民医連チラシより

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。



おおしろ せい いち
大城 誠一 議員



道路整備事業について

問

西原町は、現在8路線の道路整備事業を実施しているが、町民から進捗率や完成時期などの問い合わせがある。東崎・兼久線、兼久・安室線、安室・呉屋線について聞く。

建設部長 令和6年度6月末において東崎・兼久線の進捗率90・5%完

成年度令和8年度。兼久・安室線13・1%、完成年度令和10年度年度令和11年度完成予定。

問

東崎・兼久線は、令和5年度の財政資料及び主要政策の成果説明書によると、令和7年度完成となっている。伸びた理由を聞く。

土木課長

令和7年度完成は非常に厳しいことから、県の担当課と交渉の上延長した。

問

令和8年度に西原小学校側の工事が完成することだが、交差点も含めて供用開始予定は。

土木課長

令和8年度末になる兼久・仲伊保線のボックスカルバート※の整備状況について聞く。

問

※ボックスカルバートとは？

主に地中に埋設し、水路や通信線等の収容に用いられる箱型のコンクリート構造物

带状疱疹予防事業について

問

町内でも带状疱疹を発症したとの話をよく聞く。またテレビでは、带状疱疹予防接種について繰り返し放映されている。带状疱疹ワクチンの予防接種効果について聞く。

福祉部長

国の更生保護審議会において有効性が報告されていて、接種による発症率の低下および罹患後の神

経痛軽減の効果はあるとされている。

導入促進を図る観点から、一部助成することについての考えを聞く。

問

福祉部長

ワクチンについては、厚生労働省において定期接種にする方向性が示されているので、国の動向を確認しながら検討する。



兼久・仲伊保線の整備状況は？

西原町
議会事務局の
ホームページへ
ようこそ！



<https://www.town.nishihara.okinawa.jp/diet/index.html>



西原町議会のホームページでは、議会の仕組みや議員紹介等をはじめ、各議員の一般質問を動画で見することもできます。

また、定例会や臨時会の日程や内容、結果など、さまざまな議会の情報がいっぱい！ぜひご覧ください！

議員紹介



動画配信



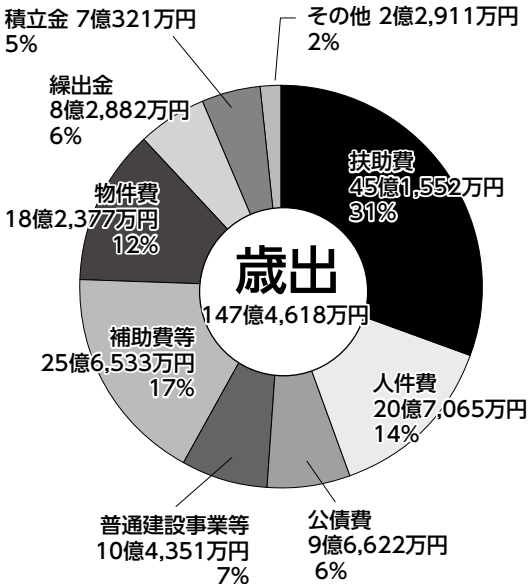
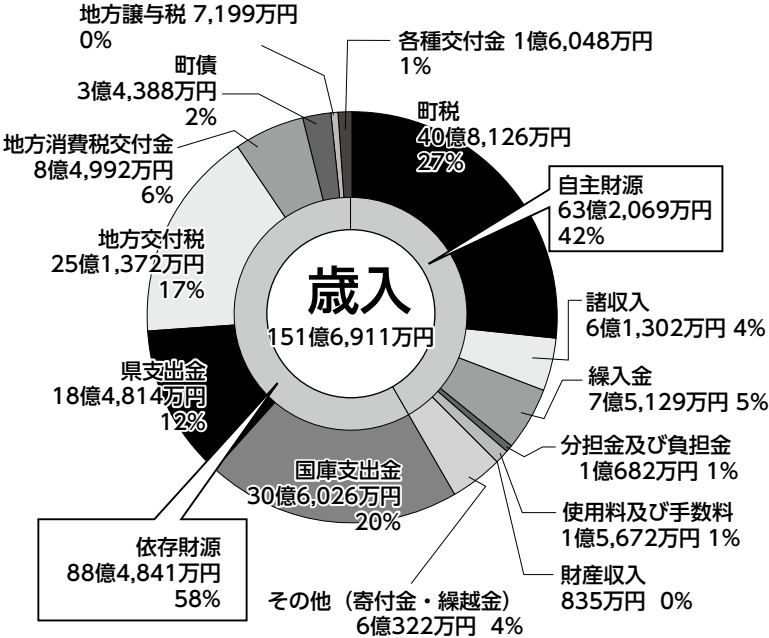
第6回定例会 令和5年度 決算審査



第6回定例会は、9月13日から10月2日まで20日間の会期で行われ、一般質問、補正予算、条例改正や令和5年度決算などの審議を行いました。

決算では決算特別委員会を設置し、該当事項を所管する各常任委員会に付託し、財務処理の全体を通して、その執行が適正、公平かつ能率的、合理的に行われたか否かの適否を審査しました。その結果、全議案について、全会一致で認定しました。

また、4日間にわたる一般質問では、13人の議員が質問に立ち、教育行政や福祉行政、道路整備事業など多岐にわたる活発な議論が展開されました。



令和5年度 一般会計・特別会計決算の状況

区 分		歳 入			歳 出		
		決算額	前年増減額	前年比	決算額	前年増減額	前年比
一般会計		151 億 6,911 万円	3 億 6,940 万円	2%	147 億 4,618 万円	4 億 9,089 万円	3%
特別会計	国民健康保険	42 億 8,027 万円	1 億 6,411 万円	4%	46 億 7,216 万円	1 億 9,831 万円	4%
	土地区画整理事業	4 億 5,591 万円	△ 1 億 292 万円	△ 18%	4 億 3,551 万円	△ 1 億 2,127 万円	△ 21%
	後期高齢者医療	3 億 3,541 万円	2,547 万円	8%	3 億 3,378 万円	2,466 万円	7%

令和6年第5回臨時会 議案議決等結果

事件番号	事 件 名	議決結果
意見書第1号	米軍人による少女拉致暴行事件および今年5月に発生した米兵による不同意性交致傷事件に関する意見書	原案可決
決議第1号	米軍人による少女拉致暴行事件および今年5月に発生した米兵による不同意性交致傷事件に関する抗議決議	原案可決

令和6年第6回定例会 議案議決等結果

事件番号	事 件 名	議決結果
報告第5号	令和6年度西原町教育委員会事務事業の点検及び評価報告書（令和5年度事業実績）について	報告
報告第6号	令和5年度西原町健全化判断比率の報告について	報告
報告第7号	令和5年度西原町公営企業会計資金不足比率の報告について	報告
報告第8号	令和5年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について	報告
報告第9号	令和5年度放棄した債権の報告について	報告
報告第10号	専決処分の報告について（損害賠償額の決定及び和解について）	報告
認定第1号	令和5年度西原町一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	令和5年度西原町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	令和5年度西原町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	令和5年度西原町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	令和5年度西原町下水道事業会計決算認定について	認定
認定第6号	令和5年度西原町水道事業会計決算認定について	認定
議案第43号	工事請負締結について（兼久・仲伊保線道路整備工事）	原案可決
議案第44号	工事請負締結について（棚原1号線道路整備工事）	原案可決
議案第45号	令和5年度西原町水道事業未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第46号	西原町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第47号	西原町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第48号	令和6年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
議案第49号	令和6年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第50号	令和6年度西原町後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第51号	令和6年度西原町土地区画整理事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第52号	令和6年度西原町下水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第53号	令和6年度西原町水道事業会計補正予算について	原案可決
同意第1号	副町長の選任について	同意
陳情第950号	地元産品奨励及び地元企業優先使用について（要請）	採択
陳情第951号	県産品の優先使用について（要請）	採択
意見書第2号	知事公約である小中学校の学校給食費無償化を早急に求める意見書	原案可決
決議第2号	知事公約である小中学校の学校給食費無償化を早急に求める要請決議	原案可決
	閉会中の継続審査・調査申出書	可決
	議員派遣の件	可決

9 月定例会 賛否の分かれた議案等

同意第 1 号 副町長の選任について

本件に同意することに異議がありました。
地方自治法第 162 条の規定により、西原町副町長を小橋川健次に選任することについて議会の同意を求める件
※賛成・反対討論はありませんでした。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	大城 誠一	真栄城 哲	与儀 清	大田 實	山城 勝貴	儀間駿太郎	伊集 悟	長濱ひろみ	伊計 裕子	喜納 昌盛	新田 宗信	與那嶺良樹	新川 喜男	比嘉 利和	屋比久満	大城 好弘	仲松 勤	前里 光信	大城 純孝
原案	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議長

※賛成は○ 反対は× 退席は退 欠席は欠

意見書第 2 号 知事公約である小中学校の学校給食費無償化を早急に求める意見書

本議案に、異議の討論がありました。
議会規則第 14 条第 2 項の規定により、知事公約である小中学校の学校給食費無償化を早急に求める意見書を提出する件

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	大城 誠一	真栄城 哲	与儀 清	大田 實	山城 勝貴	儀間駿太郎	伊集 悟	長濱ひろみ	伊計 裕子	喜納 昌盛	新田 宗信	與那嶺良樹	新川 喜男	比嘉 利和	屋比久満	大城 好弘	仲松 勤	前里 光信	大城 純孝
原案	退	○	○	○	○	○	○	○	×	退	欠	○	○	○	○	○	○	○	議長

※賛成は○ 反対は× 退席は退 欠席は欠

反対討論の主旨

(伊計裕子議員)

町議会は昨年 6 月議会で、「知事公約である学校給食費無償化実現を早急に求める意見書」を出した。今回の意見書の「全額県負担」「公約なんだから」という主張に対して賛成できない。学校給食法では、学校給食の実施主体は市町村となっている。市町村の財政状況により、無償化実現の差が生じている。本来は、国が全額負担するべきだと思う。国もそれを検討しているとのことで、農業新聞が全国調査を行った。その 7 割の自治体が本来は国がちゃんとやるべきだと。沖縄県は毎年国からの交付金が削減される中で、今の財政状況では、まず、中学生への半額補助で市町村に対する支援を行うと。町長も一歩前進だと答弁していたではないか。まず中学校に補助し、状況を見ながら全小中学校のこどもたちに支援するというのが県の計画だ。それを推し進めるのが議会の役割ではないかと思う。

決議第 2 号 知事公約である小中学校の学校給食費無償化を早急に求める要請決議

本議案は、原案の通り決定することに異議がありました。
議会規則第 14 条第 2 項の規定により、知事公約である小中学校の学校給食費無償化を早急に求める要請決議を提出する件
※賛成・反対討論はありませんでした。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	大城 誠一	真栄城 哲	与儀 清	大田 實	山城 勝貴	儀間駿太郎	伊集 悟	長濱ひろみ	伊計 裕子	喜納 昌盛	新田 宗信	與那嶺良樹	新川 喜男	比嘉 利和	屋比久満	大城 好弘	仲松 勤	前里 光信	大城 純孝
原案	退	○	○	○	○	○	○	○	×	退	欠	○	○	○	○	○	○	○	議長

※賛成は○ 反対は× 退席は退 欠席は欠

みなさんからの陳情はこうなりました
9月定例会で審査した陳情の結果を報告します。

	件名	提出者	採択方法及び附託委員会	結果
陳情第 948 号	乳幼児の「命と健康を守る」為の寄り添い支援体制についてに関する陳情	一般社団法人共育ステーションつむぎ	文教厚生常任委員会	継続審議
陳情第 949 号	教育委員の選任について（陳情）	玉城 松一	配付	
陳情第 950 号	地元産品奨励及び地元企業優先使用について（要請）	西原町商工会西原町観光まちづくり協会	本会議即決	採択
陳情第 951 号	県産品の優先使用について（要請）	公益社団法人沖縄県工業連合会	本会議即決	採択
陳情第 952 号	母（王乖彦）が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情	張 一文	配付	
陳情第 953 号	県民大会開催の要請	沖縄県女性団体連絡協議会	配付	
陳情第 954 号	子どもの医療費自己負担設定で評価する保険者努力支援制度の見直しと国庫負担の増額で国保財政の改善を求める陳情書	沖縄県社会保障推進協議会	配付	

議会活動

町村議会正副議長・正副委員長研修会

令和6年8月21日に北谷町ちゃたんニライセターで沖縄県町村議会議長会（渡久地政雄会長）主催の町村議会正副議長・正副委員長研修会が開催され、西原町からは議長以下9名の議員が参加しました。研修会では山城清二講師による「地域医療の崩壊と再生」と題した地域住民参加型の地域医療システムについて、また飯田厚講師による町村議会が今取り組むべき課題についての講義が行われました。



山城清二講師



飯田厚講師



研修会の様子

中部地区町村議会議員・事務局研修会

令和6年8月9日に北中城村中央公民館で中部地区町村議会議長会（前原信博会長）主催の中部地区町村議会議員・事務局研修会が開催されました。西原町からは議長以下13名の議員及び議会事務局長が参加し、研修会では石垣安秀氏により事例に基づいた議会運営についてをテーマとした研修が行われ、研修会の後には懇親会も開催されました。



石垣安秀 講師



研修会の様子



懇親会の様子

町村議会議員・事務局職員研修会

令和6年10月9日にホテルモーリアクラシックで沖縄県町村議会議長会（神谷たか子会長）主催の中部地区町村議会議員・事務局研修会が開催され、西原町からは正副議長以下1名の議員が参加しました。研修会では星明彦氏による「心・暮らし・社会が潤う沖縄の実現を願って」と題した講演と、飯田厚氏による議員報酬の適正化についての講演が行われ、研修会の後には懇親会も開催されました。



研修会の様子

投票率を上げるためには？

総務省は先日行われた第50回衆議院選挙(小選挙区)が53.85%だったと発表しました。前回2021年の55.93%を2.08ポイント下回り、戦後3番目の低さとなり、戦後最低だった2014年の52.66%を辛うじて上回った結果となりました。

政治に関する関心の低さや政治に対する信頼の低さ、自身の持つ一票では何も変わらないといった政治的無力感が今回の投票率の結果に大きく影響したのではないのでしょうか。

また、世代によっては政策や公約がわかりにくく、誰に投票してよいか分からないといったことや今回の衆議院選挙は異例の短期間で行われたことにより各地で準備が追いつかず期日前投票が前回に比べ2割減と低迷したことも要因の一つとして挙げられます。

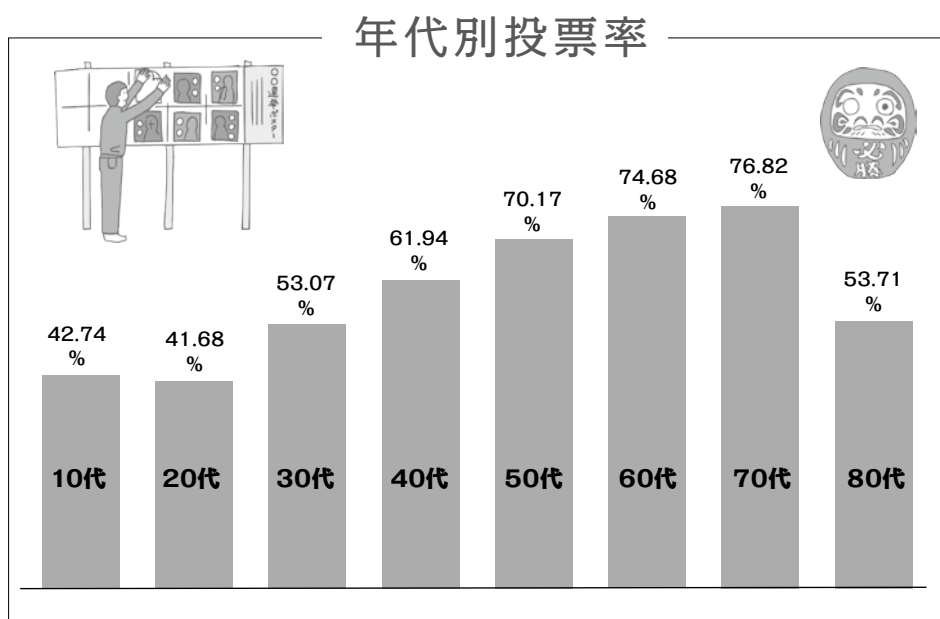
投票する人数が少なければいくら良い意見があったとしても多数派とはならず、政治に反映されにくい状況となり、様々な世代の意思や多種多様な地域の声が政治に届きにくくなってしまいます。また、新人より現職が当選しやすくなりこれまでのやり方を踏襲した政治が選挙後も継続していくことにもつながります。

日本は国民が主権を持つ民主主義国家です。選挙は、私たち有権者が政治に参加し、税金の使い方や、国や社会のルール作りに意思を反映させる最も重要かつ基本的な機会となります。

私たち西原町においても西原村から西原町となっからの過去の町長選の投票率は1980年の76.03%を境に徐々に低下し直近の町長選挙では2020年の47.60%まで低下してきています。西原町議員選挙においても1986年の83.43%を境に2022年の61.99%まで低下してきています。補欠選挙については2020年、34.40%との結果になっています。

投票率を上げていくためには町政への関心を高めるため議会活動報告会、住民の皆さんとの意見交換会などの開催をはじめ投票しやすい環境整備のために多くの人々が往来するショッピングモールなどに期日前投票ができる投票所を設置するなどの工夫が必要であると考えます。

町議会として、それぞれの選挙における投票率の向上に取り組んでいきたいと思います。



※2022年西原町議会議員選挙データ

議会活動

文教厚生常任委員会

8月28日、文教厚生常任委員会(伊集 悟委員長)は、「校長会との意見交換会」を開催しました。働き方改革の取り組みや不登校の対応、コミュニティ・スクールの運営、特に働き方改革については、多くの時間を割いて意見を交わしました。その他、こどもたちの学びを支える取り組みや安全確保についての要望もお聞きしました。本町のこどもたちのために日々奮闘する学校長や先生方のご意見は大切な民意のひとつです。今後の議会活動、委員会活動に活かしてまいります。

主なテーマ

- 働き方改革の取り組み状況、成果や課題について
- 不登校やいじめ、ネット問題の現状と課題について
- コミュニティ・スクールの取り組みについて
- 本町のこどもたちの学力について
- 教育格差について、貧困や課題のある家庭の対応
- 学校設備の現状や課題について



意見交換会の様子

比嘉利和氏が新たに議員となりました！

県議選立候補に伴う議員辞職により、西原町議会議員選挙が令和6年9月3日に告示となりましたが、届け出は比嘉利和氏一人であり、無投票で比嘉氏の当選が決定しました。任期は前任議員の残任期間で、令和8年9月27日までとなります。

「住民福祉の向上と、西原町発展のため活動してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。」



ひが としかず
比嘉 利和 (千原区)
委員会:建設産業
議会運営委員会

表紙写真について

沖縄少林流志道館宮里空手道場は、西原町字棚原出身の(故)宮里昌栄館長がアルゼンチン国コルドバ市で開設した道場で、沖縄空手道の精神と技を門下生に指導し続けて今年65周年を迎えました。その節目にあたり、故郷である西原町で65周年記念式典が開催され、本町からは町長はじめ議長、教育長が祝辞を行い、式典では多くの門下生が日頃の鍛錬の成果を披露しました。

題字制作者

西原小学校3年生

さくがわ ひろみ

佐久川 寛海さん

【ひとこと】

最初は、漢字で書こうとしていたけど、むずかしかったのでひらがなで書きました。また挑戦したいです。



表紙の題字と写真を

お寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか？

表紙の**題字**(『議会だより』の文字。横書き)と**写真**を募集しています。うまいへたは関係ありません。こどもから大人まで、生き生きとした題字と写真をお待ちしています。

送付先 議会事務局(担当:当真)

TEL945-5122 FAX945-5045

mail: gikaii_jimu@town.nishihara.okinawa.jp

9月議会の傍聴者

延べ人数

27人

議会だよりに対するご意見、ご要望等はこちらへ

西原町議会事務局

TEL:098-945-5122

議会広報調査特別委員会
委員 大田 寛

兎角に人の世は住みにくい「草枕」の冒頭に出てくる名句である。中学校3年国語で勉強した記憶だが？あの年齢では理解どころかともかく夏目漱石の作品ぐらいいしか解らなかった。いま思えば15歳の人生経験では難解すぎた。55年前に遡り、今となればあの時間、担任の先生など懐かしいかぎりだ。そんな小生ももう70歳。その間やはり人間関係にいろいろ悩みもあった。価値観や習慣、常識、さまざまなギャップ等が人間関係の難しさにつながる。70代に入るといろいろ言われる。寿命は70代の過ごし方で決まるとか、70代は特有の脆弱さがあるため、老いを遅らせるために意図的に生活習慣を自分なりに工夫するのが得策かもしれない。70歳になると大方が仕事も辞め子供達も独立し、人と関わる機会が減っていく。生きる上での楽しみがなくなるだけでなく、認知症発症のリスクも示唆される。社会から孤立しないためにもつながりが持てる場所づくりも良い手段かもしれない。あの文豪漱石の自宅には連日のように来客があり、人一倍世間と向かい続けたようだ。小説「草枕」では人の世は住みにくいところがあるが、そうではなく、実生活では人間関係も大事にした。これからも切磋琢磨し80代まで行けたら幸いだ。

つづやき